

令和3年度

学生によるオレンジリボン運動

びわこ学院大学 実施報告書



実施主体 びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科榎本ゼミ

実施内容 足がたを用いたオリジナルエコバッグづくりなど

①事前に取り組んだ内容

オレンジリボン憲章の「2. 私たちは、家族の子育てを支援します。」、「4. 私たちは地域の連帯を拡げます。」に着目し、学生が地域のためにできるオレンジリボン運動を考えることとした。そこでまず、日本の児童虐待や子育ての現状について学んだ。

また、大学の所在する滋賀県東近江市で児童虐待対応にあたっていることも相談支援課と連携し、東近江市の児童虐待の現状について話をしてもらった。オレンジリボン運動は「児童虐待防止」の意味があるが、地域の学生が地域の子育てに関心を持ち、支えたいという気持ちをもっていることを伝えることで間接的に児童虐待防止の一助となることを目指す。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

①子どもの足がたを用いたオリジナルエコバッグの作成イベント（計3か所）

- ・オレンジリボンマーク、SDGs マーク、BIWAKO GAKUIN UNIVERSITY の文字の入ったA4サイズの布製トートバッグをデザインし、足型が押せるようにした。
- ・エコバッグ作成イベント当日は、SDGs「3すべての人に健康と福祉を」、「11住み続けられるまちづくりを」、「16平和と公正をすべての人に」に対応した色、グリーン、オレンジ、ブルーのインクを用意し、この中から子どもたちの選んだ色を使ってエコバッグに子どもたちの足形（もしくは手形）を押して完成させた。
- ・イベント時に質問紙調査をおこなった。調査項目は、①オレンジリボンを知っているか、②SDGsを知っているか、③主な子育ての担い手と夫婦等の役割分担について、④ストレスについて、⑤活動の感想から成り、今後のオレンジリボン運動や学習に役立てることができるようにした。

②オレンジリボンかるたの作成とかるた遊びイベントの実施

東近江市の小学4年生の人権標語と大学生の考えた標語で読み札をつくり、学内有志が絵札の絵を書いて、オリジナルの「オレンジリボンかるた」を作成した。

- ・また、「ようかいち太子マルシェ」にて子どもたちとこのかるたを使って遊ぶイベントをした。

③オレンジリボン運動啓発用Instagramの運営

- ・日常にあられるオレンジ色の画像と一緒に「#（ハッシュタグ）オレンジリボン運動」などをつけて継続的に公開し、年間を通して啓発活動を実施している。
- ・2021年12月20日現在248の画像を公開し、161（昨年度は112）人のフォロワーがいる。Instagramはゼミの学生と教員が協同で管理し、活動写真やオレンジ色の画像UPしている。

③オレンジリボン運動を終えて…

今年度は、先輩たちから受け継いだ、エコバッグ作成イベント、Instagramの運営に加えて、オレンジリボンかるたを作成しました。

また、大学のある東近江市で児童虐待対応にあたっておられることも相談支援課の方から直接、市の児童虐待の問題について聞くことで、よりこの問題に対する意識が高まりました。

今年度はエコバッグ作成イベント3回、かるたで遊ぶイベント1回を実施し、11月と12月は本当に大変でした。しかし、この活動を通して、子どもだけでなく、子育てをしている保護者の方と直接接することができたことは貴重な経験となりました。

また、この活動で学長奨励賞を受賞したことや、今年度新聞に4度活動内容が掲載されるなど、私たちが楽しんでオレンジリボン運動をしていることを知ってもらう機会が多かったことで、ゼミ生以外でも積極的に活動を手伝ってくれるオレンジリボン運動サポーターの輪が広がりました。

活動の準備をしたり、かるたを作りながら友人や先生方と自然に子育てや虐待について話し合う機会にもなっています。

オレンジリボン運動は地域の子育て世代のために実施していますが、私たち大学生にとっても活動を通して得るものがとても多かったです。

写真



エコバッグ作成イベントの様子



オレンジリボンかるたイベントの様子

びわこ学院大学榎本ゼミ
Instagramしています！

@orangeribbon_man



日常に溢れたオレンジ色
を投稿しています！
本日の様子も投稿予定ですので、
ぜひ覗いてみてください！

びわこ学院大学榎本ゼミのInstagram
ぜひフォローをお願いします！！